

論文 / 著書情報
Article / Book Information

| | |
|-----|----------------------------------|
| 論題 | 両端に非晶鎖が結合した主鎖型液晶性ポリエステルのみクロ相分離構造 |
| 著者 | 栗林純平, 伊藤涼音, 戸木田雅利, 古賀舞都 |
| 出典 | 第46回繊維学会夏季セミナー講演要旨集, , 42 |
| 発行日 | 2016, 7 |

両端に非晶鎖が結合した 主鎖型液晶性ポリエステルのマイクロ相分離構造

(東工大・工) ○栗林純平、伊藤涼音、戸木田雅利 (農工大) 古賀舞都

【緒言】 互いに非相溶な二種のセグメントからなるブロック共重合体は一般に、片方のセグメント体積分率が 0.4~0.6 の間でラメラ状マイクロ相分離構造を形成する^[1]。我々は、polyethylmethacrylate (PEMA)をAブロック、主鎖型液晶性ポリエステル BB-3(2-Me)をBブロックとしたABAトリブロック共重合体 $B_xEMA-\phi_w$ (Fig.1, x はBB-3(2-Me)セグメントの M_n を100で割った値, ϕ_w はEMAセグメントの重量分率)のマイクロ相分離構造及び、相分離構造内での液晶配向を調査してきた^[2]。B116EMAは $\phi_w=0.3\sim 0.6$ でラメラ状マイクロ相分離構造を形成し、一方で B63EMAは ϕ_w が増加するに従って、ラメラが zig-zag となった。以上から、 $B_xEMA-\phi_w$ のマイクロ相分離構造は、BB-3(2-Me)の分子量に依存すると予想した。本研究では、それを確認すべく BB-3(2-Me)セグメントの分子量をより大きくした B460EMA- ϕ_w の構造解析を行った。その結果、 ϕ_w が 0.1~0.5 の間でラメラ状マイクロ相分離構造、B460EMA-0.64ではシリンダーとラメラが混在した構造が確認された。

【実験】 B460EMA- ϕ_w ($\phi_w=0.078, 0.095, 0.11, 0.21, 0.37, 0.44, 0.50, 0.64, 0.84, 0.92$) を合成した。B460EMA- ϕ_w の液晶セグメントの液晶-等方相転移温度は 140°C であった。190°Cの熔融体を延伸し、液晶温度で熱処理して調製した配向試料について、室温、等方相温度で2次元小角、広角 X線散乱(SAXS, WAXS)測定を行った。

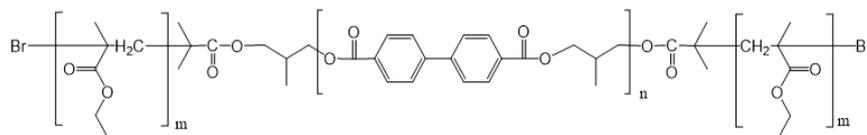


Fig.1. Chemical structure of B460EMA- ϕ_w

【結果と考察】 BB-3(2-Me)セグメントの相(SmCA, 液体)によらず、B460EMA- ϕ_w ($\phi_w=0.078, 0.095, 0.84, 0.92$) はスフェア状マイクロ相分離を形成し、 $\phi_w=0.11\sim 0.50$ の B460EMA はラメラ状マイクロ相分離を形成した。ラメラ構造では液晶ダイレクターとラメラ法線は平行であった。分子量から計算したセグメントの軌跡長と SAXS ピーク強度から推定した液晶ラメラ厚との比較から、B460EMA-0.11はBB-3(2-Me)セグメントは4回折りたたみラメラ構造であることがわかった(Fig.2)。B460EMA-0.64は室温では明確なラメラ状マイクロ相分離構造をとらず(Fig.3(a))、等方相温度ではラメラ状マイクロ相分離構造を形成したが、室温では明確なラメラ状マイクロ相分離構造が確認されなかった(Fig.3(b))。液晶の配向秩序によるBB-3(2-Me)セグメントの引き伸ばしがラメラ構造形成を阻害することが示唆された。



Fig. 2 Lamellar structure model for B460EMA-0.11

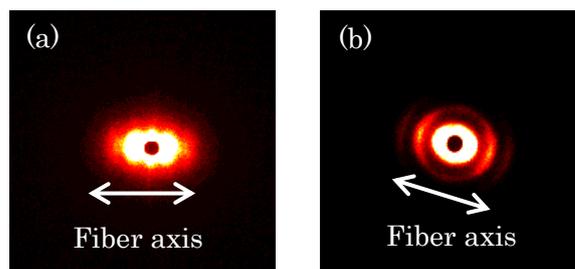


Fig.3 SAXS pattern of fiber sample of B460EMA-0.11 at (a) 25 °C and (b) 190°C

【参考文献】 [1] Masten, M.W.; Schick M. *Phys. Rev. Lett.* **1994**, *72*, 2660. [2] M.Koga et al, *Macromolecules* **2014**, *47*, 4438.

Self-assembly of triblock copolymer comprising of main-chain liquid crystalline polyester connecting to amorphous segments at both ends., Junpei KURIBAYASHI, Masatoshi TOKITA, and Suzune ITO: Tokyo Institute of Technology, 2-12-1-H-136 Ookayama, Meguro-ku, Tokyo 152-8852, Japan, Tel: 03-5734 -3641, E-mail: jkuribayashi@polymer.titech.ac.jp